

横浜市小学校社会科研究会

5 学年部会

研修会記録

第 1 号

令和4年 7月 6日

横浜市小学校教育研究会

会長 徳江 武司

横浜市小学校社会科研究会

会長 加藤 和之

同 学年部長 宮原 美由紀

【提案日時】

6月 15日 (水)

提案 小田島 学 先生 (別所小)

【会 場】

横浜市立 平沼小学校

司会 小倉 智弘 先生 (立野小)

記録 柳下 千裕 先生 (茅ヶ崎台小)

1 提案内容 単元名

単元名「寒い地域の人々の暮らし～雪と共に暮らす青森市の人たち～」

2 提案者より

目的：①研究方針について実践を通して。

②研究方針にどれだけ迫れていたか。

○研究主題に迫るために視点①、②は子ども一人ひとりのみとりが生かされた手立てだったか、ふり返りをもとに考察していく。

視点① 研究方針について実践を通して～材との出会い・資料の選定から～

(1) 3月の青森県の実際の写真、スコップを使った雪の重さ体験

教師が実際に見て、驚いたことを材にした。また雪の重さを体感できるようにスコップを使った重さ体験を行った。児童は実際に持ち上げたことで雪の重さに気付いた。A児のふり返りでは、山形県に住んでいた自分の経験から道具を工夫して雪かきをしたことをふり返っていた。

(2) スノーダンプを使った雪かき体験、青森市に住む人の話の提示

児童のふり返りから雪かきの大変さがみとれた。雪を困るものと捉えたため、困ることばかりでよいことはないかと問うた。

課題 ○誘導的な発問・・・学習問題を立てる際、誘導的な発問になった。このことから、自主的な学びの実現になったかどうか。

○資料の選定・・・資料から児童が気付かなかったことがあった。このことから、資料を精選して提示する必要があった。

視点② 研究方針にどれだけ迫れていたか～座席表の活用・板書の工夫から～

(1) 座席表を活用したみとりの方法・・・

毎時間のふり返りや授業記録をもとに、子どもがどれだけ社会的事象の意味等に迫れたかみとる。座席表を活用することで、意図的に指名し、子どもたちの意見をつなげられた。また、普段発言しない児童も意図的指名により、意見を述べることができた。

(2) 板書の工夫・・・

板書をメリット・デメリットで対比させることで、児童の思考に働きかけ、発言した意見を比較していくことができた。

課題○思考の変化・・・座席表は意見をつなげていくことに、活用することができた。しかし児童の思考の変化までは読み取れなかった。C17は、初めは雪にはデメリットが多いと考えていた。本時の意見交換をしていく中で雪のメリットについて気付くことができた。デメリットについての意見を出す際、T49の発問では、C17の思考の変化までは読み取れていなかった。

2 協議会

子ども一人ひとりのみとりが活かされた手立てだったか、協議していく。

○資料の選定

- 写真を見せてから、道具のどこに視点をもつのかを明確する。
→道具への着目が雪のあるくらしへ目を向ける。
- 視点のブレがあった。実際の高さを提示することで気付きが増えるのでは。
- 重い、身長より高いなどの具体的な高さを示す。
- 雪は当たり前と思って生活している人々と雪自体を珍しいものと捉えている児童
楽しいから生活している人の目線になるようにする。
→雪へのイメージを、ウェビングマップを活用することで、思考の変容を読み取って
いくツールにするのもよい。
- 青森県の時間割など児童にとって身近な物で比較していく。

○思考の変化

- メリット・デメリットの立場をはっきりさせるとデメリットが出やすくなるのではない
か
- C17の児童のみではなく他の児童にも同じ発問をする。
- 生活者の視点と産業の視点はちがう
- 生活者の意見として、よさを実感することは難しいのでは。
- 単元計画に適応していくと産業としてのメリットに目が向かう。
- メリットを生活に生かす、生かしていくと捉えた方がよい。
- 授業の中で思考の変容が見られたことはよいこと。

<講師の先生より> 大曾根小学校 宮本 雅司 校長先生

様々ある都道府県から、青森県を選ぶことで、青森県＝りんごというイメージで気候条件と産業の関わりに迫ることができる。日本の気候から産業の広がりに向け、地理的条件から見ていくこともおもしろい。B児からのみとりから、花卉の栽培に関することがあった。青森県＝りんごというイメージから本気の学習問題につなげていく。視点①で挙げられた単元づくりでは、日々の生活を全般に体験や経験、想いからその地域の人々が、気候条件をどのように生かしながら暮らしているのかをふくらましていくことができる。また、夢中になって話す姿が、本気の学習問題を社会的事象の意味等にせまっているのではないかと。

座席表が子どもたちのみとりに、結び付いていた。

文責 田澤 哲哉 (常盤台小学校)